



JRC MUSASHINO HOSPITAL

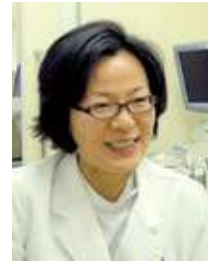
武蔵野赤十字病院

- 所在地 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1
- 連絡先 Tel 0422-32-3111 (代表)
- 休診日 土曜、日曜、祝日、5月1日(赤十字創立記念日)、年末年始
- 病床数 611床(一般528床、ICU 8床、HCU 22床、GICU 6床、SCU 9床、NICU 6床、GCU 12床、感染症20床)

厚生労働省は中核病院11病院と連携病院135病院を、がんゲノム医療を提供する施設に指定しています。当院は昨年10月に連携病院に指定され、岡山大学病院、国立がん研究センターと連携してがんゲノム医療の提供を開始しました。

産婦人科部長

小林 弥生子
Yaeko Kobayashi



がんゲノム医療を開始

新たな治療の可能性

がんは、喫煙、食物、紫外線や加齢などさまざまな要因により、遺伝子に病的な変化(変異)が生じ、複数の変異が積み重なることで発生する「遺伝子の病気」と言われています。ゲノムとは「遺伝情報の全体」を意味します。

がんゲノム医療では、がんの発生に関係があるとわかっている数百個の遺伝子を一括して解析する検査(がん遺伝子パネル検査)を行い、遺伝子の変異に応じた最適な治療を提供する医療です。

これまでのがんの治療方法は、がんが発生した場所(臓器)ごとに決められていましたが、がんゲノム医療では、がんの遺伝子変異をもとに治療を選択する新しい「がんの個別化医療」です。

新しい「がんの個別化医療」

がん遺伝子パネル検査は、現在がんの治療を受けていて、標準的な治療に効果が乏しい方が対象になります。採取したがんの組織を最新の遺伝子解析装置を用いて、がん関連遺伝子について一括して

解析し、変異を検出します。遺伝子変異が治療に影響を与えるものかどうかを、さまざまな情報をもとに判断し、最終的に遺伝子や薬物療法、がん治療の専門家が集まるエキスパートパネルと呼ばれる会議で治療の選択肢を検討します。検査には2か月程度かかります。

ゲノム医療は始まったばかりで、検査を受けたすべての患者さんに最適な治療が提供できるわけではありません。

選択された薬剤が保険適用になっっている場合には、通常通りに治療を受けられますが、検査で遺伝子変異の状況がわかっても対応する薬剤がないなど、治療につながらない場合もあります。

将来、がんゲノム医療が進んでいくと、ゲノム医療のデータが積み重ねて治療薬・診断法の開発が進み、新たな治療に結びつく可能性が広がります。

多くの患者さんに良いがん治療が届けられるように、私たちはがんゲノム医療を推進していきたいと考えています。



がん治療の専門家が集まるがんゲノム会議



患者さんの身体の細胞や組織について調べているところ

